



# 裏磐梯だより

No. 88

2018年1月



▲雪化粧の竜沼

この冬は初雪も早く降りましたが、降る雪の量も、この時期としてはここ数年で一番多いです。一晩でどっさりと降り積もる雪に落胆する気持ちも少なからずありますが、スノーシューでふかふかの新雪の上を踏みしめて歩いて行くのが楽しい季節です。

グリーンシーズンは言うまでもありませんが、こんな真冬でも五色沼湖沼群の魅力は健在です。なかでも、春夏秋と木々の茂みに隠れていた竜沼たつぬまがしっかりと姿を現しています。沼の色は、深みのある青緑色にみえたり、曇り空と雪の色を反射して鉛色にみえたりと、その時々でちがってみえます。名前の由来は不明ですが、ぐねぐねしたヤナギ類などの木々が水面近くまでいくつも枝を伸ばしており、その枝ぶりからは、力強く天空を飛び回る竜の姿が連想できます。

物静かで色の少ない季節ではありますが、まっしろな雪のなかに浮かび上がる五色沼湖沼群には、冬ならではの存在感が感じられます。例えば、青沼の青さにはこの季節でも思わずドキッとさせられます。スノーシューを履いて、一面の水墨画のような世界に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか？